定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

平成２９年5月２４日

境港市教育委員会（平成２９年５月２４日委員会会議録）

招集年月日	平成２９年５月２４日　　１５時３０分		
招集場所	市役所第一会議室		
開　　会	１５時３０分　教育長宣言		
出席委員	① 松本　敏浩	② 谷田　真基	
	③ 酒井　伊津子	⑤ 徳永　由樹	
	⑥ 赤石　有平		

教育長から説明のため出席を求められた者

	教育委員会事務局参事	川　端　　豊
	教育委員会事務局長	藤　川　順　一
	学校教育課長	影　本　　純
	学校教育課補佐	髙　濵　禎　彦
	学校教育課補佐	門　脇　克　美
	生涯学習課長	黒　崎　　享
	教育総務課補佐	松　本　昭　児
	教育総務課係長	荒　岡　真　樹

傍聴者数	なし	
会議書記	教育総務課係長	荒　岡　真　樹
提出議案	議案第 9号	境港市就学指導委員会委員の任命ついて
	議案第10号	境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について
協議事項	教育委員会の点検・評価について	
	その他	
報告事項	５月の行事報告、６月の行事予定など	

【１．開会】
○松本教育長　　　　それでは、ただいまから５月の定例教育委員会を始めます。

【２．前回議事録承認】

【３．議事】
○松本教育長　　　　議案第９号、境港市就学指導委員会委員の任命について説明をお願いします。

○学校教育課長　　　議案第９号、境港市就学指導委員会委員の任命についてです。境港市就学指導委員会委員を今年度の職場の異動等により任期途中ではありますが委員の改選を行います。児童福祉施設等の職員として渡邉佳代子様を任命いたします。前任者の小松原様の職場が変わられたことによるものです。学校関係では川田亜巣加先生を任命しております。前任者の佐藤先生が通常学級の担任になったことによる変更です。特別支援学級の担任の枠でしたので任期途中でありますが川田先生にお願いいたします。養護教諭の近藤陽子先生は第三中学校の配属でしたが第一中学校に異動になりましたので名簿の修正をしております。以上でございます。

○松本教育長　　　　ただ今、境港市就学指導委員会委員の任命について説明させていただきましたが、何か質問等がございますか。（なし）それでは、議案第９号については承認といたします。それでは続きまして、議案第１０号、境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について説明をお願いします。

○生涯学習課長　　　議案第１０号、境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱についてです。任期は平成２８年６月１日から平成３０年５月３１日までですが、ＰＴＡ会長、ＰＴＡ

生徒指導部長などは一年ごとに学校を交代するので交代により新たに委員になる方を委嘱するものです。

○松本教育長　　ただいま説明がありました委員の交代についてなにか質問等ございますか。

○赤石委員　　青少年育成センターは具体的にどんな活動をしているのでしょうか。

○生涯学習課長　　条例上の目的は、青少年問題に関する機関及び団体等との連絡を図り、青少年の非行防止と健全育成の指導を総合的に行うこととなっております。青少年相談、自立支援、街頭指導、環境浄化、広報、関係機関および団体との連絡調整などです。わかりやすい例で言いますと不登校児童をやすらぎルームでの受け入れを行ったり、ホットラインという電話による悩み相談を受け付けたり、大型連休とかみなと祭などで街頭パトロールを実施したりしています。地区の部会で青少年の非行防止活動などもしています。

○赤石委員　　小中高にかかわる方が委員になっていますがやすらぎルームは高校生の受け入れもしているのですか。

○生涯学習課長　　小中学生のみです。

○松本教育長　　そのほかご意見、ご質問がありましたらお願いします。（なし）それでは、議案第１０号についても承認といたします。

【４．協議事項】

（１）教育委員会の点検・評価（平成２８年度分）報告書について

○松本教育長　　つづきまして協議事項に入ります。教育委員会の点検・評価報告書についてです。この教育委員会の点検・評価は地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき教

育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、報告書を作成し、議会に報告し公表するものです。事業名ごとにご意見、ご質問をいただけたらと思います。初めに「市内一斉学校公開」について意見・質問がございますか。

○酒井委員　　コミュニティスクールが実施されるということもあって市内一斉学校公開は地域の方に学校のことをよく知ってもらう良い機会だと思っていますが、保護者は来られるとは思いますが地域の方の来校者数はどのくらいでしょうか。地域の方の来校がもし少ないようであればどういった手立てをしておられますか。

○学校教育課長　　地域の方につきましては昨年の実績では１０校で１５４名の方が来られています。保護者につきましては１，２７４名来られておりますのでおおよそ一割程度です。公民館から案内をおこなったり、ホームページでご案内したりというかたちで広報しております。より多くの地域の方を呼び込む手法を検討する必要があると思います。各学校にも地域の方が参加できるよう工夫をするように依頼をしておりますので、来校者が増えることを期待しております。

○松本教育長　　そのほか質問等はございませんか。では、つづきまして「学力向上事業・よりよい学級づくり事業」について意見・質問がございますか。標準学力検査ＣＲＴ（標準学力を絶対評価法で行う検査）やＱ－Ｕ（学校生活における満足度と意欲、学級集団の状態を調べるアンケート）等に関する事業です。

○谷田委員　　学力向上事業についてですが、事業目的としては学力の向上を図っていくものになりますが、最終的に何をもって学力の向上を図れたと判断しているのでしょうか。判断指標について教えていただきたい。

○学校教育課長　　　ＣＲＴにつきましては、全国平均値が公表されるのですが、この全国平均値と比べてどのくらいの位置にあるのかというところと、前年度との比較を指標としており、相対的にどのように力をつけてきたかということで確認することができます。教科ごとに領域ごとに細かい数値がでてくるので、こちらも全国平均値と各校の数値を比較して弱点や長所を確認することが可能です。市や学校全体だけでなく個々の指導に生かせる指標も出てきます。

○谷田委員　　　テストを受けて分析をして現状を確認して、また次回テストを受けた時の結果と比較して成績の伸びなどを確認するのですね。

○学校教育課長　　　そうですね。４年生で受けたテストの結果と５年生で受けたテストの結果を比較し、６年生になると種類は違いますが学力テストを実施しますのでこちらとも結果を比較して分析することができます。

○谷田委員　　　結果として学力は伸びているのでしょうか。

○学校教育課長　　　少しずつではありますが向上しています。

○谷田委員　　　可能であれば「成果・効果」の欄に結果が数値的に示されていればよいと思います。

○学校教育課長　　　わかりました。数値で結果が分かるように表記をいたします。

○松本教育長　　　そのほかに意見等がございますか。

○酒井委員　　　昨年度からｈｙｐｅｒ－ＱＵ（Ｑ－Ｕにソーシャルスキル尺度をはかる日常の行動をふり返るアンケートを加えたもの）からＱ－Ｕに変更して実施することになり、担任の先生が検査結果を処理することになりましたが負担になっていませんでしょうか。また、有効活用ができて

いるでしょうか。

○学校教育課長　学校教育課で表計算のシートを作成し配布しており、結果を入力すれば各生徒がどのような状況かがわかるようにしています。作業時間がかからない方法で指導ファイルができるようにして活用してもらっています。

○松本教育長　そのほか質問等はありませんか。（なし）では続いて「職場体験学習『ワクワク境港』」について意見・質問はありませんか。

○赤石委員　受け入れ企業等と学校とで話し合いの場はありますか。受け入れ側も事業の目的をきちんと把握されているのでしょうか。生徒が希望した職種で希望した業務内容を体験できているかなど学校が把握して受け入れ先との話し合いの機会があってものよいのではないですか。有効な事業として継続していただきたい。

○学校教育課長　今年で７年目になりますが、継続して受け入れしていただく企業等に関しましては学校側から例年通りお願いいたしますとごあいさつに伺っております。新規の企業等につきましては事業の趣旨をご説明して理解をしていただいたうえで受け入れをお願いしております。職場体験終了後に企業等にもアンケートに回答していただき、生徒たちの様子や体験内容についても把握し、学校側への要望等もいただき学校内で内容を整理し課題等がないか確認しています。生徒にもアンケートを実施して体験の内容等について把握しています。どのような仕事が希望に合致するかというところはありますが内容に関しては基本的には企業等にお任せしております。企業等を集めて説明会などは行っていませんが、なるべく生徒の希望する職種を体験できるように各学校が受け入れ先の新規開拓に努めています。すべての職種をそろえるのは難しいので生徒たちには希望の業種は何かというところで受け入れ先を選択するようにしています。働くという意味

の基本的なことを学ぶということを重視しています。その点で生徒と企業ともに理解してもらっています。

○赤石委員　企業等に体験内容をこまかく指示するのは難しいとは思いますが、企業等も受け入れ方に関して困っているケースがあると思いますのですべての企業でなくてよいので意見を聞く機会があってもよいかと思います。

○学校教育課長　アンケート等では見えてこない問題もありますので直接声を聞かせていただけるような機会を持ちながら見直していくことも必要かと思っています。７年目になるので今後のやり方等も検討する必要があるのかとは思っています。

○松本教育長　職場体験学習が終わった後に企業から受け入れ時の状況や今後の受け入れの希望などをうかがっております。ご意見をうかがいながら今後の事業につなげていかなければと思っています。そのほかご意見等ございますか。（なし）それでは続きまして「小・中学校就学援助費」についてご意見・ご質問等がありますか。（なし）それでは続きまして「児童クラブ運営事業」についてご意見・ご質問等がありますか。

○赤石委員　児童クラブの受け入れ学年の状況はどうなっていますか。

○学校教育課長　今年度の４月から外江、境、誠道に加えまして上道、余子でも６年生まで受け入れができるように条例改正をいたしました。現状では上道は６６名と人数が多く、余子は指導員の人員的に受け入れ状況が整っていないため4年生から６年生までの子どもは受け入れができていません。こういった課題がありますので今後の運営方法について検討しているところです。平成２８年度末のクラブ在籍者数が平成２７年度末に比べて大幅に増えている状況からして非常にニーズが上がってきているのがわかります。受け入れができる体制を維持していかなければならない

と強く思っています。

○赤石委員　地区によって受け入れる学年の差があると不公平感が生まれるのではないでしょうか。共稼ぎ世帯が増えていく状況の中で公平が保たれたほうが良いと思います。

○学校教育課長　六年生までの受け入れは、一斉に開始するのではなく年次的に受け入れ地区を増やしていくことで理解をしていただいております。来年度は渡地区で６年生まで受け入れ可能になるように条例を改正する予定にしています。

○赤石委員　指導員の確保が難しいのではないでしょうか。

○学校教育課長　指導員の募集方法を工夫しないとなかなか集まらないのでいろいろな手法を検討しています。

○松本教育長　非常にニーズの高い事業です。現在、市長と語る会を開催していますが、ある地区では幼稚園や保育所と比べて預かってもらえる時間が短いので小学校に進学したら仕事を続けられないという意見もありました。指導員の人数、皆さんのニーズ等で課題があるのが現状です。そのほか質問等はございますか。

○赤石委員　児童クラブは学校施設を使用してもよいのですか。

○学校教育課長　学校施設を使用するのが基本です。ただし児童クラブは民間企業も実施することができます。たとえば夕日丘保育園が児童クラブを実施しています。補助金の制度もありますので民間企業が参入していただけたら市としては助かります。他市町村では民間企業が参入している例が多くありますので境港市も市と民間とで受け入れ態勢が整えられたら良いと思います。

○松本教育長　そのほかご意見等ございますか。（なし）では続いて「教職員の研修活動の実施」についてご意見・ご質問がありますか。（なし）続きまして「小・中学校少人数学

級実施事業」についてご意見・ご質問がありますか。こちらは県と協力して市内小中学校の全学年で少人数学級を実施しているものです。

○谷田委員　鳥取県独自の方法ですか。

○松本教育長　本来、学級編成や教員配置は県が実施するのですが、鳥取県だけは市町村と協力して財源も負担して少人数学級を実施しています。当初、教員の給与は国庫負担という原則があるので国は法律違反ではないかという指摘がありましたが、県と市町村は賃金を払っているのではなく運営の協力金を負担しているだけという見解を理解してもらい実施にこぎつけました。そのほか質問等ありますか。（なし）続きまして「指導補助員配置事業」についてご意見・ご質問がありますか。学校現場では指導補助員がいることで大変助かっています。教員の手が届かない部分で指導補助員に密接にかかわってもらい授業が円滑に進められています。今年度は指導補助員に欠員がでていて公募しているのですがなかなか応募がない状況で配置人員を減じているところがあります。

○赤石委員　一斉公開日に学校に行くと生徒の数は減っていますが落ち着きのない生徒がいたりするので、指導補助員が配置されていることは大変有効だと思います。

○松本教育長　発達障がいの生徒がクラスに二人いた場合、授業が成立しなくなって、時には学級崩壊を引き起こす場合があります。県内でもそういった事例があります。授業を複数で行うということは必要なことです。そのほかご意見等ありますか。（なし）続いては「国際理解教育の推進」についてご意見・ご質問がありますか。国際情勢が緊張している中で海外に生徒を派遣することはできておりません。今は北方領土の問題をはじめ日本とロシアの国際関係への理解を深めるために北海道の根室市へ現地学習に訪れているものです。

〇谷田委員　　近年は海外へ研修に行けないという状況があり、今後もこういった状況がしばらく続くと思います。現在、国内で代わりに研修を行っておりますが、そういう状況であれば、境港市は外国船が多く入港し、外国人が多く訪れています。さまざまな国の方と接する状況を容易に持つことができると思います。根室まで行くと、国内研修３泊４日でそれなりの予算が必要になりますので実際に研修を受けることができたのは市内の生徒９名と限定されてしまいます。もし市内で事業が組めれば非常に低予算で実施することが可能ですのでより多くの生徒が国際理解教育の事業に参加できると思います。なんとか境港市ならではの事業が展開できないでしょうか。

〇学校教育長　　境港市の利点を生かしていくとは非常に大事だと思います。クルーズ船の運航時間や入港日等でなかなか都合が合う機会がないのですが、その中でも何かできることがないかというところを通商観光課と協議をしています。状況を見極めながら可能性を見つけたいと思っています。また、「うきうきイングリッシュ」の活動でもクルーズ船の入港を生かせないかと思っています。

〇松本教育長　　今年度、上道保育園で乗船客と園児との交流の場を設けることができたという例がありますので。今後の可能性を感じました。根室での研修を実施するとともに今後、費用の掛からない方法での国際理解の事業を検討したいと思います。続きまして「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」についてご意見・ご質問がありますか。

〇赤石委員　　学校を訪問すると先生方が忙しい中、学校の樹木の剪定や草取りなどをして大変学校をきれいにしておりますが、こういったことも、地域の方が協力して行えば先生の負担が減り大変よいことだと思います。

○生涯学習課長　　　　境小学校で市民運動会前に地域の方が樹木の剪定等に集まっていただき学校側が大変感謝をしていた例もあります。専門的な内容でなければ相談いただければ小中学校ともに地域の方が協力いただけるよう調整できます。

○赤石委員　　　　　見守りボランティアも大きな事業ととらえて進めていただきたい。

○生涯学習課長　　　　見守りボランティアにつきましては市内統一のベストと帽子が整いましたので各地域に配布しているところです。また、ボランティアに集まっていただきご意見をうかがう会を開催します。今後の運営に生かしていきたいと思っています。

○松本教育長　　　　先日の事件のこともあって周りの目が気になるといわれるボランティアもおられるので活動の現状を聞かせていただくのとボランティアから子どもたちの登下校の様子などを聞くことができればと思っています。つづきまして「読書活動推進大会開催事業」についてご意見・ご質問がありますか。（なし）「境港市読書まつり」などをおこなう事業ですが、大変よい事業なのですがなかなか多くの方に情報が行き届いていないようです。来られた方は大変満足されていましたのでより多くの方に参加していただきたいので広報の仕方を工夫したいと思っています。今後、図書館がリニューアルすると多様なイベントを開催することが可能になります。続きまして「綾木いづみ会が展開催補助金」「松本英三木版画展開催事業」についてご意見・ご質問がありますか。

○赤石委員　　　　　こういった境港市出身の画家などの展覧会を開催する際にはなにか基準がありますか。

○生涯学習課長　　　　基準はありませんが本人の希望などをきっかけに開催することがありますが、開催に当たってはご家族、友人などの同級生が開催に向けて尽力が開催、成功につながっ

ています。

〇松本教育長　　続きまして「文化財ハンドブック製作事業」についてご意見・ご質問がありますか。

〇赤石委員　　今年は文化財めぐりが開催されますか。

〇生涯学習課長　　開催を予定しています。その際に文化財ハンドブックが役立つと思います。この文化財ハンドブックの製作の意図もこの本を片手に市内の文化財を探索していただくことです。

〇松本教育長　　以上で教育委員会の点検・評価の協議を終わります。

（２）その他

〇松本教育長　　境港市市民交流センター新築工事基本設計書の概要版を配布していますが、ご質問等ありますか。

〇生涯学習課長　　現時点での概算ですが駐車場は６０台程度駐車台数が増える予定です。

〇松本教育長　　設計書をご覧いただき質問等がございましたら随時ご連絡ください。

【５．報告事項】

《学校教育課長、生涯学習課長、各報告》

〇松本教育長　　ただいまの報告につきまして、何かご質問等ありましたらお願いします。（なし）その他、委員さんの方から何かありますでしょうか。（なし）先日、全国都市教育長協議会の定期総会に参加しました。来年は境港市が学校教育についての発表を行うこともありまして他市の発表状況を参考にするために行きました。発表の中で興味をひかれたのは、２０３０年を迎えるころに子どもたちに

求められるのはどんな力だろうか、そのためにはどんな教育が必要だろうかというテーマでした。その頃には人工知能が現在、人が行っている仕事の半分をとってかわって行うようになるであろうが、教師という仕事は残るのだろうか。知識や理解に関することは人ではなく、ロボットが行うようになってしまう。そこで教師に求められることは、「学ぶことの楽しさ」をつたえることであり、ロボットにはできないことであるということでした。また、子どもたちもジグソーパズルのような一つの答えを見つけ出すというだれがやっても同じ答えになるような力は必要なくなり、ブロックのような答えが無限にありそのなかで自分はどんな答えを導き出すかという力が必要になってくる。というようないろいろな話を聞くことができました。来年の定期総会では境港市もよい発表ができるように努めます。そのほかありますでしょうか。
（なし）

【６．閉会】

○松本教育長　　それでは議題は終了しました。本日の定例委員会は閉会といたします。ありがとうございました。